

このまちの100年

「宇都宮」

宇都宮は古くは二荒山神社の門前町として栄え、江戸期には城下町、日光・奥州街道の宿場町としても繁栄しました。明治17年に県庁所在地となり、現在も県の政治・経済の中心地となっています。



大正期

大正期の宇都宮駅の駅前風景



昭和5年頃

東北本線宇都宮駅の二代目駅舎。豪華な社寺建築で、京都鉄道二条駅の駅舎の模範にされた



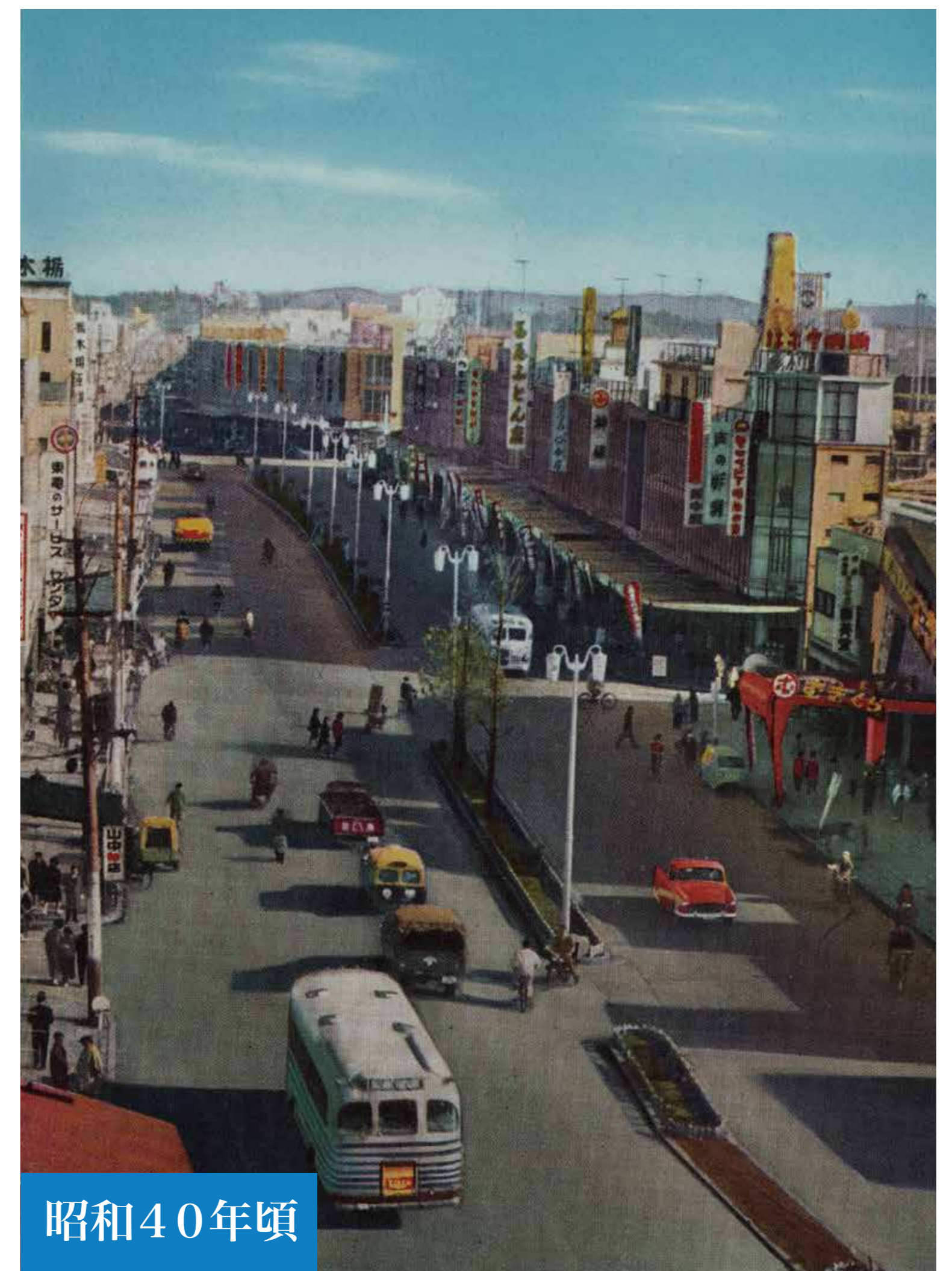
昭和10年頃

昭和6年に開業した東武宇都宮駅



昭和5年頃

宇都宮の中心地に鎮座する二荒山神社の参道付近の様子



昭和40年頃

東京電力付近の馬場通り。宇都宮駅方面を望んでおり、右の歩道のアーケードは現在も残る

上空からみた宇都宮エリア



昭和21年



昭和50年



平成22年

: 現在地
 : 宇都宮二荒山神社 : 栃木県庁 : 東武宇都宮駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ